

ヤスハラケミカルは、人や環境にやさしい天然素材の原材料を活かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

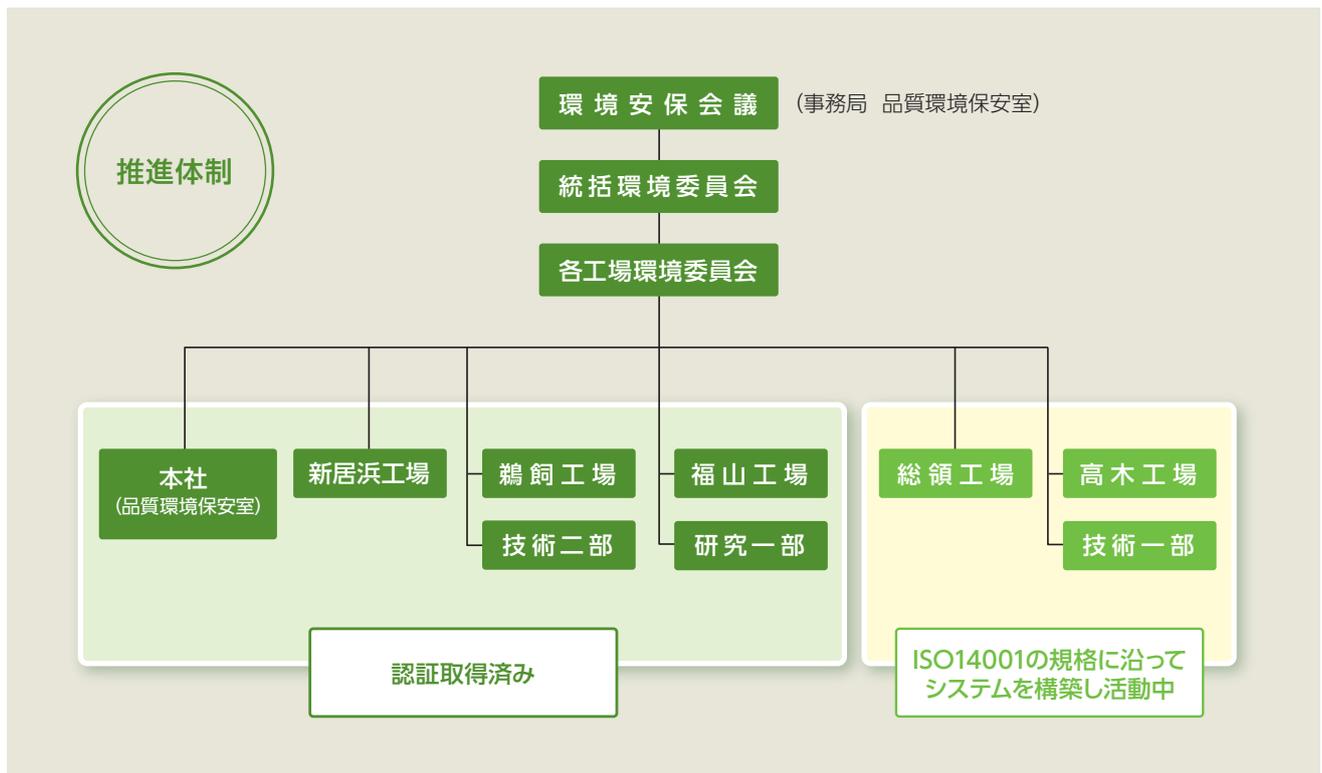
《 環境・安全に関する基本方針 》

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二



目標達成状況

2015年度の具体的目標と実績

ヤスハラケミカルでは、各サイトでの環境目標を数値設定、励行することで、事業活動全体における環境負荷の削減を推進しています。

環境活動の目標と実績				
活動テーマ	2015年度目標	2015年度実績	評価	2016年度目標
環境マネジメントシステム (EMS) の推進	EMS認証取得3工場の認証更新	3工場の認証更新	○	3工場の認証維持
省エネルギーの推進	エネルギー原単位前年度比1%削減	エネルギー原単位前年度比1.1%削減	○	エネルギー原単位前年度比1%削減
温室効果ガスの排出削減	CO2原単位前年度比1%削減	CO2原単位前年度比2.4%削減	○	CO2原単位前年度比1%削減
産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位削減	産業廃棄物排出原単位前年度比6%増加	×	産業廃棄物排出原単位削減
	廃棄物排出量削減	横ばい	×	廃棄物排出量削減
化学物質の適正管理	PRTR排出量削減	PRTR排出量前年度比7%削減	○	PRTR排出量削減
	化学物質リスクアセスメントの継続実施	化学物質リスクアセスメントの実施	○	化学物質リスクアセスメントの継続実施
災害・事故	休業災害・事故ゼロ	休業2件・事故1件	×	休業災害・事故ゼロ
環境報告書*発行	年1回発行	6月発行	○	年1回発行

◎目標を大幅に超えて達成 ○目標を達成 ×目標を達成できなかった

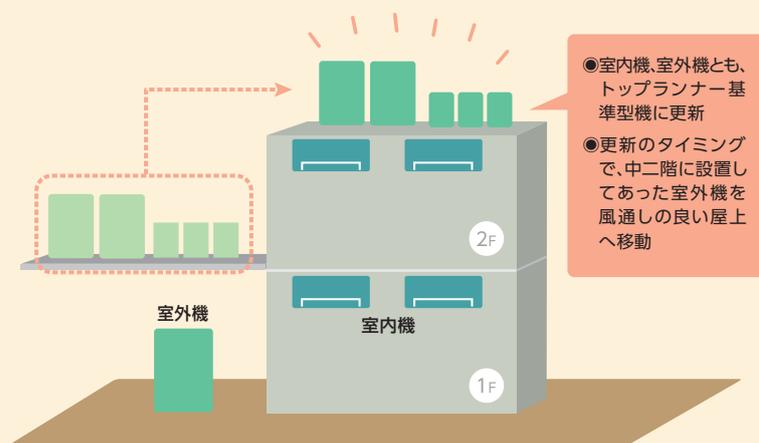
*2016年度より名称を「環境・社会報告書」に変更



COLUMN

空調機の省エネ (鵜飼工場)

鵜飼工場事務棟では、省エネルギーを目的として、2015年11月にすべての空調機をトップランナー基準型機に更新しました。また、室外機については、更新のタイミングで、設置場所についても見直しました。これまで中二階に設置してあった室外機は、屋上へ移動させることで、メンテナンスがしやすくなっただけでなく、風通しの良さにより熱交換の効率改善にもつながりました。今回の空調機更新による効果としては、事務棟空調用の消費電力を年間で33%程度削減できる見込みです。

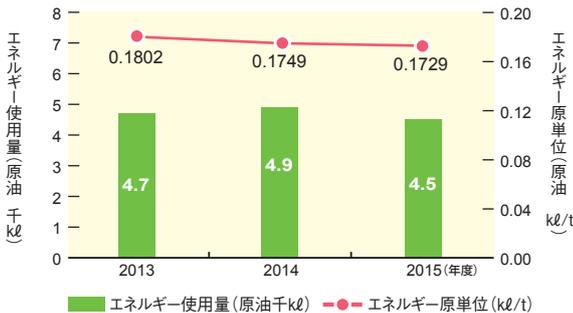


事業活動における環境配慮への取り組み

エネルギー使用量

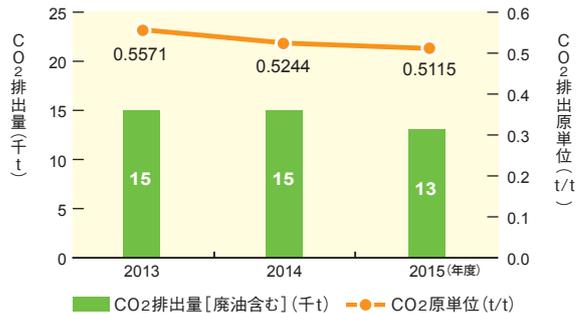
2015年度は生産性向上の継続、空調機のトップランナー化などの省エネルギー活動に取り組み、エネルギー原単位は前年度比1.1%減少しました。

引き続き省エネに関する情報を収集し、幅広い視点で省エネルギー活動を継続してまいります。



CO₂排出量

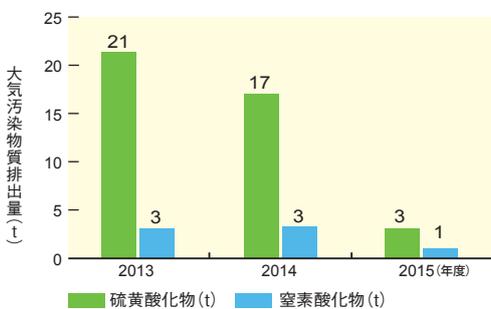
2015年度は省エネルギー活動により、CO₂排出原単位は前年度比2.4%減少しました。引き続きCO₂排出削減に努めます。



大気汚染物質の排出量

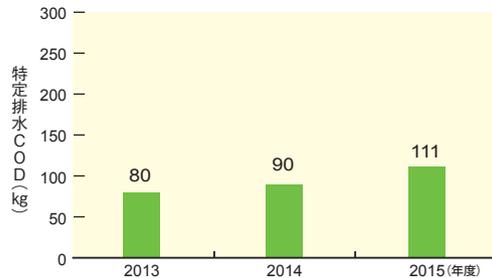
2015年度は2014年度からの低硫黄燃料への転換により、硫酸化物排出量は前年度比78%減少しました。

引き続き大気汚染物質の排出削減に努めます。



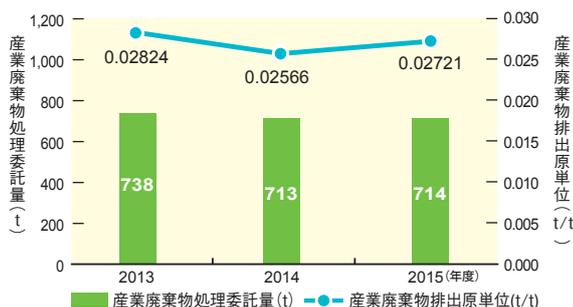
排水負荷物質の排出量

2015年度は生産品目の変動によりCOD負荷量は前年度比23%増加しましたが、排水の適正な管理及び排水負荷低減の活動は今後も続きます。



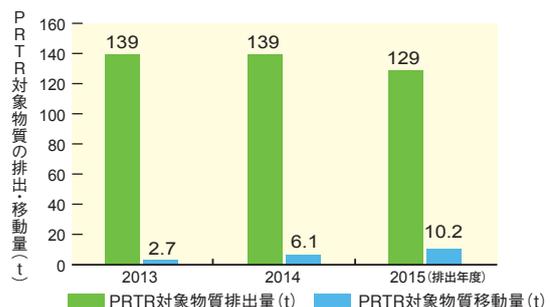
産業廃棄物処理委託量

2015年度は生産設備の整備による廃棄物の増加にともない、産業廃棄物排出原単位は前年度比6%増加しましたが、産業廃棄物削減、有価物への転換などの活動は今後も継続します。



PRTR対象物質の排出・移動量

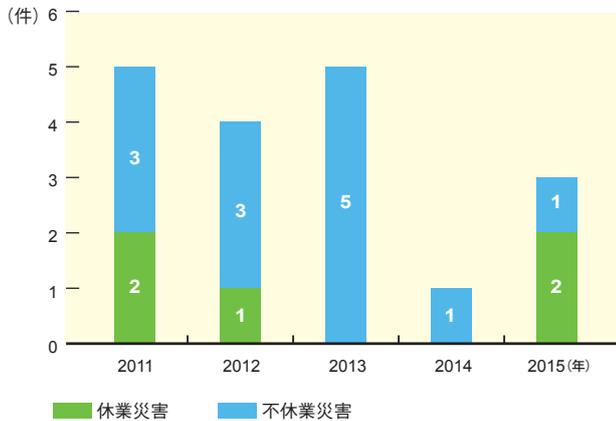
2015年度は生産品目の変動により、PRTR対象物質排出量は前年度比7%減少しました。引き続きPRTR対象物質の排出・移動量の削減に努めます。



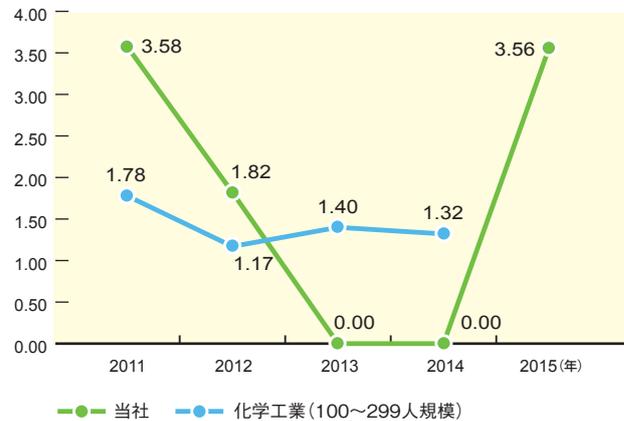
安全衛生への取り組み

ヤハラケミカルは、安全を最優先に事業活動を行い、安全、健康そして快適な職場づくりに取り組んでいます。

▶▶▶ 労働災害発生件数の推移



▶▶▶ 休業災害度数率の推移



※度数率は、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生頻度を表す。
 ※出典：厚生労働省「平成26年労働災害動向調査（一般産業統計表2）」（平成27年11月4日公表）

▶▶▶ 安全衛生表彰

永年にわたり安全衛生活動と災害防止活動に努めたことが評価され、次のとおり各工場が関係団体から表彰されました。

表彰日	表彰工場	表彰内容
2015年6月15日	川内工場	鹿児島県危険物安全協会会長賞
2015年7月1日	総領工場	広島労働局長奨励賞

また当社では、職場ごとに労働災害無災害日数の目標を第1種から第10種まで定め、その目標日数に到達した場合、安全表彰を行っています。2015年度中に表彰を受けた職場は表のとおりです。

※第1種達成とは、定められた目標日数の間、無災害の場合をいい、目標日数を超えた場合、その倍数ごとに第2種、第3種と継続する。

達成日	表彰職場	表彰種別
2015年4月5日	福山工場製造課	第3種
2015年5月11日	川内工場	第2種
2015年5月15日	技術一部技術一課	第1種
2015年6月7日	高木工場製造課	第4種
2015年7月27日	高木工場業務課・工務担当・警備担当	第1種
2015年8月20日	本社事務所	第8種
2016年1月15日	鶴飼工場検査課	第1種
2016年1月17日	鶴飼工場製造課・工務担当	第8種
2016年2月12日	研究一部	第1種
2016年2月15日	技術二部	第3種

▶▶▶ 安全衛生・環境に関する資格の有資格者数

当社では、安全衛生・環境に関わる必要な資格の積極的な取得に努めています。

法的に定められた選任者は充足していますが、新入社員をはじめとした若手従業員を中心に資格取得の推進を図り、スキルアップにつなげています。

資格名称	有資格者(名)	
	2014年度	2015年度
公害防止管理者	15	15
エネルギー管理士	8	8
衛生管理者	12	13
特別管理産業廃棄物管理責任者	7	7
ボイラー技士・整備士	44	45
危険物取扱者	171	174
消防設備士	15	17
高圧ガス製造保安責任者	59	61